

目 次

はしがき

第1編 基礎の考え方	1
§ 1. 構造模型の導入	1
§ 2. 確率化の役割	6
§ 3. 変量の導入	13
§ 4. 偏り	17
§ 5. 母集団	19
§ 6. 母数の主なもの	27
§ 7. 誤差法則	32
§ 8. チェブィシェフの定理	52
第2編 実験の型	59
§ 9. 一元配置法	59
§10. 二元配置法	64
§11. 多元配置法	76
§12. ラテン方格法	83
§13. 超方格法	89
§14. 直交配列表	95
§15. p^n 型の穿孔カードの作り方 I. [p が素数の場合]	98
§16. p^n 型の穿孔カードの作り方 II. [p が素数のべきの場合]	114
§17. 交絡法	126
§18. 部分交絡法	141
§19. 強さ d の直交配列表	146
§20. 不完備型配置法	157

§21.	釣合い型不完備型配置法.....	166
§22.	準ラテン方格法.....	181
§23.	不完備型ラテン方格法	188
§24.	分割法.....	209
付録-数学的注		215
参考書の解説		285
索 引	289

本文中で肩の星印 * はその頁の下にある注， 太字の注は， 付
録 - 数学的注 を意味する。

